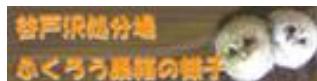


谷戸沢処分場のフクロウが3年連続で巣立ちました！ ～フクロウのヒナが、日の出の森の中へ～

東京たま広域資源循環組合（管理者：立川市長清水庄平）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）の巣箱に営巣したフクロウのヒナが1羽、新緑の森の中へ巣立ちましたのでお知らせします。

当組合では、3月30日にフクロウが谷戸沢処分場に営巣し、5月2日に1羽、5月4日にもう1羽のヒナが孵(かえ)ったことをお伝えしました。5月4日に孵ったヒナは、残念ながら5月8日に死んでしまいましたが、6月3日、1羽のヒナが無事に日の出の森の中へ巣立ったことを確認しました。

なお、この様子は当組合のホームページでご覧いただけます。



フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



巣箱から姿を見せる
フクロウのヒナの様子
(6月2日撮影)

当組合では、6月23日（土曜日）に、谷戸沢処分場で保全している「国蝶 オオムラサキ」の見学会を開催します。あわせて、営巣したフクロウのヒナの巣立ちまでの写真や映像も紹介します。

なお、見学会の詳細については、ホームページにて掲載しております。

◆循環組合ホームページ：<http://www.tama-junkankumiai.com/>

巣箱内のフクロウの様子（5月30日、ふくろう巣箱カメラで撮影）

ふくろう巣箱カメラ（谷戸沢処分場）



6月3日に巣立ちを確認したフクロウのヒナ（6月2日撮影）

